

横須賀学院中学校 2021 年度入試問題の出題傾向と対策

〔国語〕 100点 50分

① 傾向

- ☆ 漢字・語い 小学校での学習範囲内ですが、読みは多少その範囲を超えて出題されます。熟語の構成、対義語、類義語、四字熟語、慣用句、部首なども含みます。
- ☆ 文法 文の成分とそのつながり方、用法などが出題されます。
- ☆ 物語文 表現に即し、登場人物の気持ちや情景を読み取る問題が中心です。
- ☆ 説明文 指示語の内容や接続語などをおさえつつ、内容を正確に読み取り、その主張を理解しているかを問う問題が中心です。
- ☆ 新傾向問題 会話文やあるテーマに沿った文章の内容を読み取り、情報を整理して解答するような問題です。
- ☆ 文章表現 与えられたテーマに対し、具体例や理由をあげて自分の考えを150字以内でまとめる問題です。部分点もあります。

②対策

- ☆ 長文に慣れておくことが大切です。過去問題集や他の問題集、塾の教材などで、長文を読み、その中に出てくる語いや文法、指示語などをよく確認し、内容を自分の言葉でまとめられるようにしておきましょう。
- ☆ 与えられたテーマに対し、最初に結論となる自分の考えを述べ、そのあと、その理由(根拠)を具体的に述べる形の文章を、150字以内で書く練習をしておくといよいでしょう。

〔算数〕 100点 50分

①傾向

- ☆ ①は計算問題(小数・分数や加減乗除の混ざった問題)8問、②は文章題の小問、虫食い算等7題出題します。
- ☆ ③以降は文章題(速さ、規則性、図形、場合の数、ともなって変わる量、割合など)を4題程度出題します。

②対策

- ☆ 例年と大きな変化はありません。基本的な理解や考え方を見る問題なので、過去問題集や他の問題集、塾の教材などで、問題演習をたくさんやっておくとよいでしょう。問題文をよく読み、公式や単位を間違えないようにしましょう。
- ☆ 問題数は多いかと思いますが、問題傾向については、過去に出題されたものと大きく変わりませんので、解くスピードを意識した練習をしましょう。
- ☆ ③以降は部分点も見ますので、決してあきらめず、解く過程を大切にしながら、途中式等もしつ

かりと答案用紙に書くようにしましょう。

〔社会〕 75点 40分

① 傾向

- ☆ 地理・歴史・公民の3分野を融合して問題を出題します。
- ☆ 資料(写真やグラフ、地形図)が何を示しているのかを読み取る問題が出題されます。
- ☆ 地理分野では、地形図の読み取り方や、日本の都道府県について、基本的事項を確認しておいてください。
- ☆ 歴史的分野は古代から近代史までの基本的な出来事や流れを勉強しておいてください。
- ☆ 公民分野は政治分野を中心に現代社会が抱える問題について出題します。基本的な内容をよく整理しておいてください。
- ☆ 新聞やニュースで報道されている時事問題についても興味を持ってください。

② 対策

- ☆ 小学校の教科書が基本となりますが、問題集や参考書、地図帳を使って、様々な角度から勉強をしておきましょう。
- ☆ 問題を最後までしっかりと読み、解答するように努めてください。
- ☆ 資料の読み取りがしっかりとできるように学習しておきましょう。
- ☆ 時事問題のチェックをしておきましょう。

〔理科〕 75点 40分

① 傾向

- ☆ 物理・化学・生物・地学の4分野から、バランスよく出題されます。
- ☆ 大問数は4問、小問数は20~30問程度の出題です。
- ☆ ふりこ、みつ度、魚、気象にかかわる問題が出題されます。

② 対策

- ☆ 各分野の基本的な知識はしっかりと身に付けておくこと。
- ☆ 問題文をよく読み、何を問われているのか、しっかりと判断する力が必要となります。重要なところをチェックしながら、慌てずに問題文を読み進める練習をしておいてください。

〔適性検査型Ⅰ〕（人文・社会科学系） 100点 50分

- ・グラフ、図、対話文などの様々な資料を読み取る力を見ます。分量が多いので、集中力も問われます。
- ・簡単な計算問題も含まれます。
- ・文章を読み取り、自分の考えを加え、要約してまとめる問題も出題されます。

〔適性検査型Ⅱ〕（数理・自然科学系） 100点 50分

- ・記述問題あります。自分の考えをきちんと説明できるようにしましょう。
- ・問題文が長めなので、しっかり集中して読み取ることが大切です。
- ・文章、グラフなどから適切に情報を読み取る力が求められます。

●英語資格利用入試について

英語検定4級以上、JET3・4級、TOEIC Bridge110点以上、TOEFL Primary204点以上などの資格が出願条件になっています。作文・面接(保護者同伴)を重視した判定を行います。

〔作文〕 日本語による作文です。

- ・時間 : 40分 ・文字数 400字以上
- ・内容 : 600~800字程度の文章を読んで、それに関して、自分の考えを400字以上の日本語で書く問題が出題されます。基礎的な読解問題も含まれます。

〔面接〕

1. Yes-No Question, 5W1H を用いた簡単な英語の質問
(例) ・英語は好きですか? ・どこに住んでいますか? ・あなたの趣味は?
・いつから英語を勉強し始めたのですか? など
2. 日本語の質問
★自分についてアピールしてくださいという質問は必ずします。
(例) ・自分の長所・短所、特技、得意な科目など
3. 保護者への質問
・ご家庭の教育方針 ・キリスト教教育についての感想 など

重要！！

★面接・作文ともに、『自分の意見をしっかりと伝えるのか』や『積極性』などを重視して判定を行います。

●帰国生入試について

『保護者の海外在留に伴う海外在住期間がおおむね1年以上等』などが出願資格になっています。試験科目は、国語・算数の2科目ですが、英語検定4級以上、JET3・4級、TOEIC Bridge110点以上、TOEFL Primary204点以上などの資格があれば、国語・算数のいずれか1科目で受験ができます。他に保護者同伴面接があります。

〔国語〕

- ・出題傾向は一般入試と変わりませんが、下記の項目でやや軽減があります。
 - ☆漢字 : 小学校で学習する範囲からの出題です。
 - ☆読解問題 : 基本的には一般入試と同じ形式、難易度で出題しますが、問題文章はやや短めになっています。

〔算数〕

- ・出題傾向は一般入試と変わりません。
- ・難易度の高い問題は一般入試と比べて少な目ですが、出題傾向は変わらないので、一般入試同様に、過去問題集などで問題演習をたくさんやっておくとよいでしょう。

〔面接〕

1. Yes-No Question, 5W1H を用いた簡単な英語の質問 (英語資格があり、1科目選択した場合)
(例) ・英語は好きですか? ・趣味はなんですか?
・どこに滞在していましたか? ・休日はどうのようなことをして過ごしますか?
・何年間現地校に通っていましたか? など
2. 日本語の質問
(例) ・海外在住時に関する事の質問 など
3. 保護者への質問
・海外在住時・帰国後のお子さまの様子
・キリスト教教育についての感想 など

★国語・算数の試験を課していますので、面接は判定の材料として参考程度の扱いとなります。